



松井成樹さん

江戸時代から続く洛中最古の蔵元

京都市左京区の東一条、東山三十六峰と鴨川に囲まれた自然豊かな環境に立つ「鴨川蔵」。創業280余年の歴史をもつ蔵元「松井酒造 株式会社」が、平成21（2009）年10月に開設した新しい酒蔵です。マンションの1階フロアに広がるこの蔵は、昔ながらの酒造りの製法を守りつつ、エネルギー源として太陽光発電を利用するなど、伝統技術と次世代のテクノロジーとが融合した酒蔵として注目を集めています。

松井酒造は、享保11年（1726）に創業した老舗で、社長の松井八束穂さんは14代目。市中心部において酒蔵を営む数少ない蔵元の一軒で、銘酒『京千歳』、『富士千歳』、『金瓢』などの醸造元としても知られています。創業当時は兵庫県香住で醸造していましたが、江戸後期に京都に移り、大正末期に現在の地に移転、江戸期より続く丁寧な酒造りで伝統の味を守ってきました。しかし1970年代に酒造りの拠点を伏見区に移転。東一条の跡地にはマンションを建設し、本社機能を残しました。



町家をイメージした松井酒造の店舗

水に恵まれた創業地に酒蔵を再建

美酒を造る主な要素は、米、水、杜氏の技術といわれますが、なかでも清廉な水は美味しい酒の醸造には不可欠です。松井酒造の本社のある地は鴨川畔に位置し、良質の地下水に恵まれたところ。江戸時代にはこの周辺の水を樽に入れて大坂へ運び、名水として販売されていたといいます。同社の酒は、この鴨川の伏流水を仕込み水として使用しています。1970年代に行われた地下鉄の開通工事により地下水が変化することを懸念して、拠点を伏見に移し、酒造りにあたっていましたが、松井社長は「いつか創業の地である東一条に戻って酒造りをしたい」という思いを温めていたといいます。

ちょうどその頃、松井社長の長男で15代目を継ぐ成樹さんが家業に入り、専務取締役に就任しました。また、地下鉄工事から10年以上が経過し、本社敷地内の地下60mの水質検査を実施したところ、水質に変化はなく、やわら

環境対策

かで良質な酒造りに適した水であることを再確認。近年の日本酒の衰退に心を痛めていた松井社長は、この機に創業地に酒蔵を再建することを決意しました。



マンションの1階フロアに広がる酒蔵

日本酒の醸造に太陽光発電を導入

家業に就いた成樹さんの初仕事は、新しい酒蔵の開設と、新ブランドの立ち上げでした。開設する場所は、35年前まで酒蔵だった跡地に建設されたマンションの1階フロア。「京都市内の住宅地の真ん中で操業するのでからクリーンさが大切です」と語るように、これからの酒造りには環境への配慮が不可欠と考えた成樹さんは、日本酒の醸造において非常に重要な温度と衛生面をしっかりと管理できる最新の設備を整えることに。そして、蔵内で必要な電力エネルギーを太陽光発電で供給するシステムを導入することを決意しました。

そして平成21（2009）年10月、総額1億2000万円を投じた新酒蔵「鴨川蔵」が完成。約800㎡の鉄筋コンクリートの近代的な蔵の中に、麹室や冷蔵室、酒タンク16基などの酒造設備を設置。タンクは雑菌が繁殖しにくいステンレス製を採用しました。屋根の上には太陽光発電のパネルを設置。発電量は約10キロワットと、酒造りに必要な電力の約7割に充当するといいます。蔵の新設にあたり費用の相談をしていた取引銀行の担当者から、環境に役立つ事業を支援するファンドがあると聞いて応募。助成金は主に太陽光発電装置の設営工事に活用しました。



鴨川蔵から誕生した新銘柄「神蔵」

鴨川蔵から新ブランド「神蔵」誕生

平成21（2009）年12月、鴨川蔵の開設を記念して立ち上げた新ブランド『神蔵 KAGURA』がデビュー。京都府美山産の酒造好適米「祝」を35%まで精白し、鴨川の地下水で仕込んだ純米大吟醸です。蔵で生まれたままのフレッシュで濃厚な味と香りを届けたいと、火入れ（加熱殺菌）も濾過も行わず瓶詰めした無濾過の生原酒にこだわったといいます。最新の設備と、能登から招いたベテラン杜氏の勘によって徹底した温度管理を行い、低温でゆっくりと醪を発酵させた大吟醸酒は、華やかな香りとなめらかな口当たり。冷蔵システムを完備したことによって出荷するまで理想的な状態で保存することが可能になりました。そして、平成22（2010）年4月には全国新酒鑑評会にて入賞したほか、英国の国際鑑評会でも銀メダルを受賞しました。

太陽エネルギーを活用した全国的にも珍しいこの取り組みは、多くのメディアの注目を集め、新規お客様の獲得にもつながったといいます。

また、同社の近隣は、京都御所や下鴨神社など観光地が点在する恵まれた立地にあることから、京都の観光振興にも一役買おうと酒蔵の見学コースを設定。一人でも多くの人に同社の酒を飲んでもらう機会を作りたいと、蔵内で落語会やコンサートなどのイベントも開催しています。

「これまでの酒蔵のイメージとは大きく異なりますが、太陽光発電を使用したマンション内の酒蔵という事実を個性と捉えています。鴨川蔵を日本酒の魅力を世界に発信する場にしていきたいですね」。そう語る成樹さんの言葉からは、老舗を背負っていく強い覚悟が伺えました。

事業概要

松井酒造 株式会社

<http://matsuishuzo.com/>

代表：松井八束穂

業種：清酒製造業

創業：享保11（1726）年 設立：昭和31（1956）年

住所：〒606-8305

京都市左京区吉田河原町 1-6

TEL：075-771-0246 FAX：075-771-3630